



水の中で笑顔いっぱい！

校長 三村 里弥子

例年であれば雨の日が多く、少し肌寒さを感じることも多かった時期ですが、今年は梅雨とは思えないほどの暑さが続いています。

6月中旬からは水泳学習が始まっています。朝の登校時には、子ども達の元気な挨拶とともに、「今日、プールある？」と嬉しそうに聞いてくる声が聞こえてきます。授業の最初は、少し緊張した面持ちの子ども達も、水に足をつけたり、身体に水をかけたりしているうちに、自然と笑顔になっていきます。「冷たい～！！」と先に水中に入る友達の姿に勇気づけられて、自分も入ってみようと頑張る姿もありました。どの子も、水中を動き回ったり、もぐったり、浮いたりしながら、水に慣れ親しんでいきます。

子ども達は、友達と水をかけあって「キャー！！」と声をあげて笑い合ったり、「宝探し」や「じゃんけん列車」などの活動を通して水の中で遊ぶ楽しさや一体感を感じたりしています。さらに、高学年では、「上手にバタ足をしたい」「苦手だけど、ビート板を使って、たくさん泳ごう！」「もっと長く泳げるようになりたい！」と、それぞれの目標に向かって意欲的に取り組む姿が見られます。自分のペースでチャレンジしながら、友達と励まし合い、水に親しむ楽しさを感じている様子が印象的です。

水泳学習では、安全第一に、水分補給を適宜行いながら、無理のないペースで進めています。複数体制で見守り、子ども達一人ひとりの様子にしっかりと目を配っています。

これから暑さが本格化する時期となりますが、体調管理にも十分配慮しながら、水に親しみ、命を守るための大切な学びにつなげてまいります。

熱中症のリスクも高まっています。学校では、暑さ指数（WBGT）を確認し、外での活動を控えたり、こまめな水分補給や休憩の声かけをしたりして、安全面に十分配慮しながら活動を進めています。ご家庭でも、登下校時の帽子の着用や、体調管理へのご協力をお願いいたします。

6月17日に、第1回学校運営協議会が開催されました。子ども達の様子やチーム担任制、地域と学校との連携など、幅広く意見を交わす貴重な機会となりました。

今後も、保護者の皆様、地域の方とつながり、信頼される学校づくりを進めてまいります。引き続きご理解とご協力をよろしくお願いいたします。